

長崎っ子の心を見つめる教育週間の取組（小学部）



6月1日～4日まで長崎っ子の心を見つめる教育週間でした。
小学部ではこの期間、いじめや人権、命の大切さ、そして情報モラルについてそれぞれの学年、ブロックで授業を行いました。



1年生は、いじめや人権について考える第一歩として、友達と仲良くすることについて学習しました。授業の最後はみんなで協力して遊具の後片付けを頑張りました。



2年生は、命の大切さについて学習しました。自分たちはお父さんとお母さんたちから生まれてきたということや、生まれてきた命はみんな大切なものだということを学びました。その後、教師が提示した赤ん坊の人形を大事そうに抱っこしていました。



4年生は、紙芝居で不審者から命を守るために、自分たちが注意しなければならないことを考えました。また、“いじめ”や“いじわる”をテーマにした絵本を読んだ後、友達と仲良くするためにどうすればいいか考えました。



高学年は情報モラルについての学習をしました。タブレットを使うときは時間やマナーを守って使わなければいけないことを、実際にタブレットを使いながらしっかり学びました。